



# 熊谷東ロータリークラブ会報



クラブテーマ

「ロータリアンであることに誇りと感謝」

会長：浅井 純次 副会長：清水 利夫 会報情報委員長：吉田 繁  
幹事：野澤 正春 会長エレクト：武藤 正

国際ロータリー会長：マーク・ダニエル・マローニー  
第2570地区ガバナー：鈴木 秀憲

〒360-0024 熊谷市問屋町2-4-1 熊谷流通センター会館  
TEL.048-525-3025 FAX.048-525-7011  
office@kumagaya-east-rc.com  
例会日：水曜日12時30分/月末は夕刻例会 18時30分

通算 2004回 【例会】 会員卓話 齋藤会員 佐藤会員

令和元年10月2日

◎司会：新井 公二 正 SAA ◎点鐘：浅井 純次会長

## 会長挨拶

浅井 純次 会長



まずは、本日の理事会報告をさせていただきます。

[理事会報告の内容は省略]

野澤幹事のご子孫の葬儀に参列してきました。野澤幹事に関しては本日までお休みで次回例会より復帰する連絡がありました。

また、入院をされている細川会員ですが当初皆さんが思っているよりも若干重いそうです。病院は熊谷総合病院で本日例会後にクラブを代表してお見舞いに行ってきます。

本日は齋藤会員と佐藤会員の会員卓話となっております。よろしくお願いたします。

ご報告等が長くなってしまいましたので、私の話はこれくらいにさせていただきます。

## 幹事報告

浅井 純次 会長



### 地区事務所より

- ・鈴木ガバナーより  
ロータリーカード活用のお願い
- ・ロータリーの友地区代表委員より  
10月号の見どころ
- ・R 財団より  
学友会ニュース
- ・バギオ訪問交流の旅募集  
2020/3/12～15 (4日間)
- ・米山記念奨学会より  
・2018 決算報告・50年記念誌の案内・月間に因んで  
豆辞典配布  
・クリスマス会の案内  
12/8 (日) 川越東武ホテル 16:30～

### 熊谷市社会福祉協議会より

「赤い羽根共同募金」法人募金のお願い  
通年通り

### 熊谷市国際交流会より

第27回外国人による日本語スピーチコンテストの案内  
10/20 (日) 熊谷商工会館 大ホール

### 熊谷市コミュニティづくり市民協議会より

秋のゴミゼロ運動について

例会日	出席	欠席	MU	出席率
10.2	19	8	1	71.4%

### 〈本日 10/16 のプログラム〉

ガバナー補佐訪問  
新井啓介氏 (行田さくら RC)

## 第四回 理事会



### ◎決議事項

1	会員増強に関する IDM を全員で例会外にて行う	承認
2	10・11月プログラムの件	承認
3	忘年例会の件 12/18(水) タンドールキッチン	承認

## 例会企画委員会

中山 康德 委員長



### 10月プログラム

- 10月2日 理事会報告  
会員卓話  
齋藤勝治会員・佐藤良孝会員  
誕生祝い
- 10月9日 休会(定款第7条)
- 10月16日 ガバナー補佐訪問  
新井啓介氏(行田さくらRC)
- 10月23日 休会(定款第7条)
- 10月30日 ガバナー公式訪問 ガーデンパレス  
鈴木秀憲氏(吹上RC)  
(熊谷西・熊谷籠原・熊谷南・熊谷東合同)

### 11月プログラム

- 11月6日 理事会報告  
会員卓話 高橋勤二会員・角田 健会員  
誕生祝い
- 11月13日 移動例会  
(坐禅例会・東光寺)
- 11月20日 会員卓話  
出井哲司会員・中山康德会員  
パスト会長会予定 13:40~
- 11月27日 夕刻移動例会 魚勝  
卓話 航空自衛隊熊谷基地より

## 親睦委員会

小川 智 委員長



### 10月会員・パートナー誕生祝

川柳勝一会員

宮川悦子さま・岩崎和子さま・中山延枝さま  
おめでとうございます。

### 忘年家族例会について

## ニコニコBOX

森田 政男 委員



### 浅井純次会長・清水利夫副会長・野澤正春幹事

本日の齋藤会員、佐藤会員の会員卓話楽しみにしておりました。  
よろしくお願い致します。

### 浅井純次会長

ラグビーワールドカップも盛り上がっていますが、先日のアイルランド戦の日テレのニュースに野村会員が代表ユニホームで応援している姿が映っていました。

### 清水利夫会員

齋藤勝治さん、佐藤良孝さん卓話を楽しみにしておりました。

### 宮川 進会員

齋藤勝治さん、佐藤良孝さん卓話よろしく。家内悦子の誕生祝いありがとうございます。

### 中山康德会員

本日の齋藤・佐藤両会員の卓話を楽しみに参りました。又、妻の誕生祝いをいただきありがとうございます。二人ともこれで古希となりましたが、休日のソバドライブ道中を続けていきたいと思えます。

### ナビーンシャルマ会員・井桁憲治会員

齋藤勝治、佐藤良孝さんの卓話楽しみにしております。赤い羽根ありがとうございます。

### 佐藤良孝会員

本日の会員卓話のスピーチをさせていただきます。よろしく願い致します。

### 小川 智会員

先日、指が痛くなり、医者へ行ったところ、バネ指でした。

本日は、齋藤さん、佐藤さん卓話宜しくお願い致します。

### 市川富夫会員

齋藤会員、佐藤会員の卓話楽しみにしています。

### 吉田 繁会員

今日の齋藤勝治会員、佐藤良孝会員お二人の卓話を楽しみにしていました。宜しくお願いします。

## 武藤 正会員

斉藤さん、佐藤さん本日の卓話たのしみにしていました。宜しくお願いします。

## 岩崎孝男会員

妻の誕生祝い、ありがとうございます。

## 森田政男会員

10/1より消費税の変更がありました。ニコニコBOXでは消費税はありませんので御安心を！

ニコニコBOX	本日	累計
10.2	¥25,000	¥295,000

## 会員卓話

斎藤 勝治 会員



## 幼稚園を取巻く環境

皆さんこんにちは。今年度に入りロータリーへの欠席が多く申し訳在りません。

実は、本年度、4月1日より幼保連携型認定こども園に移行いたしました。その為、県への許認可申請・熊谷市との折衝や管轄官庁の調整等により又、毎月の書類提出等に時間を取られ、ロータリーに出席する機会が以前より中々出来なくなりました。

この形態は平成27年年度、今までの幼稚園として残るのか、こども園として新たに再発足するかを選択が、平成31年の3月末でした。その後2～3年ほど延期されましたが、当園は、最初の予定通り、今年度よりこども園として発足する計画を立て5年前より、1・2才児保育そして預かり保育の充実を進め準備しており、スムーズに移行できました。

管轄省庁も、文部科学省より内閣府に変更になりました。

ここに来て何故こども園に移行したかと申しますと、少子化により、園児の減少が顕著に現れ、このままの幼稚園運営ですと近い将来運営が成り立たなくなり、廃園の危機にこうむる事が目に見えていたからです。少子化の波は、ここ三年前より出生が年間100万人をきり平成30年度は、91.8万人迄減少しました。昭和24年には、269万人が出生しましたが現在は、その3割程の人数です。少子高齢化の原因については、様々な原因がありますが、結婚をしない人の増加・晩婚化等要因があります。其の改善策の一つとして出生率低下に歯止めをかけるべく、子供を生み、育てやすい社会の創設を目指して子ども・子育て法案が制定されました。

又、全ての3～5才までの園児がこの10月1日より保育料の無償化が実施されました。

この制度には、色々な問題が山積みされており賛否両論の意見もとりただされております。そして、安倍政権の消費税

10%増税の目玉政策の一つとしてこの無償化が実現化されました。

埼玉県は、人口の多い都道府県で全国第五位にランクされ732万人の人口です。其の殆どが、圏央道以南に人口が密集しており、県南地区430万人・圏央道地域242万人・県北60万人という数字が出ており、子ども園化の%率は県北ほど顕著に現れています。県北の人口減少は、度々、県議会等でも危惧されており、人口減の対策が必要とされておりますが中々いい手立て・政策は、暗中模索というところでしょうか。

こども園の特徴は、幼稚園と保育園を一体化した施設です。ですから、共稼ぎをしていないご家庭いわゆる、今までの幼稚園に通う園児を1号認定児そして、共稼ぎのご家庭で今まで保育園に通う園児を2号認定児と申します。そして、0才～2才児を3号認定児と申します。当園では、0歳児の預かりは行ってなく1歳児よりのお預かりです。

その全てを預かる施設ですので、幼稚園の降園時間に帰る(当園では2時30分)そして共稼ぎのご家庭では、最長6時30分までお預かりします。朝は、7時30分ですから最長1日11時間です。このように長時間預かりを行っておりますが、やはり、2歳まではご家庭で子育てをし、幼稚園のように1日4時間保育が理想ですし子供にとっては親の愛情をいっぱい受けて育つのが望ましい姿です。しかし、現実では、人手不足のおり、政府では、お母さんの社会進出を奨励しており、理想と現実難しい問題です。

この様な現状ですので、私も普段他に何も用事のないときは、7時に園を開け、閉めるのは7時です。さらに、お寺の用事も土日によく多忙の生活を送っております。しかし三年前より、後継者が、寺の副住職・園では事務長として私以上に働いてくれているので大変助かっているところです。その他、土曜保育・長期休業日の保育等、休めるのは、年末年始の6日間です。この様な現状ですので、厚生労働省の週40時間をクリアするには、多くの職員が必要になります。現在幼稚園時代から比べると倍の教職員が必要となります。現在は、どの様な職業でも人手不足が危惧されているところですが20才～22才の幼稚園教諭・保育士の資格を取得する学生の減少そしてその年齢が既に少子化ですので、職員の確保がこの業界の大きな問題の一つです。私どもも、ハローワーク・各養成校への求人案内等で常に募集をしており、又、高給優遇等で案内しておりますが中々、確保が難しいのが現状です。

当園でも、この様な少子化の時代に順応すべく暗中模索の現状ですが、時代のニューズと共に生き残りをかけなくてはなりません。現在職員数は35名、園児数本年度は270名が在園しており、来年度も園児の増加を予定しております。これもひとえに、地域の皆様・保護者の皆様そしてロータリー会員の皆様も勿論ですが、多くの友人・職員に恵まれこの様

な結果に至ることができ感謝申しあげさせていただきます。

又、上之地区は、ラグビーワールドカップの恩恵を受け第二北大通の開通・谷郷線の開通と大変便利になりました。この道路計画は50年ほど前から都市計画で予定されておりましたが、中々計画が進まず、ワールドカップ開催がなければまだ10年かかるようでした。

このように、地の利を活かして上之地区も区画整理と共に発展するのではと期待しております。そして、今、こども園の拡張を予定しており、ロータリ関係の皆様にご協力をいただいております。又、寺の整備も行っており齋場等も完成し、檀家・信者の皆様・地域の皆様にもご使用頂き徐々に起動に乗りつつあります。そして経営を磐石にして後継者に引継ぎを行おうと思っています。

色々苦慮する点多々あり、後何年か判りませんが頑張っていく所存ですので、御支援・ご協力をお願い申し上げ、私のスピーチといたします。

## 会員卓話

佐藤 良孝 会員



「筆墨、文具、OA、諸々」

昭和20年8月15日、日本は終戦を向えました。その後、父は実家の熊谷へ帰還しました。家は農家で次男でした。帰還した後は百姓仕事をする事が嫌いで、何もしないで家でぶらぶらしておりました。家族の一部からは、「厄介もんが帰ってきたもんだ」と鬱陶しく思われていたようです。

そんな時、広島県の戦友から一通の手紙が来ました。その手紙の内容は次の様なものでした。『広島県安芸郡熊野町は、昔から筆の生産が盛んな町であり、私の家も筆を作っています。もし貴殿が現在、仕事が無いようだったら、私の所から筆を卸すので筆を売る商売を始めたらどうでしょうか。』

そこで、父はその商売に飛びつきました。まず、店の名前はどのような事になり、自分の想いを店の名前にしようと思いつきました。当時、自分の住まいが大里郡玉井村(現熊谷市)なので、「自分は玉井から昇って一旗揚げてやるぞ」という意気込みで玉井の「玉」と「昇」を採り玉昇堂という名にしようとしたのですが、それだと自分の意図するものが、あまりにもあからさまになるので、昇は「しょう」と読むので何か当て字はないかと思いついたのが「章」という字でした。それで玉章堂という名が付きしました。

しばらくして、筆の軸に玉章堂と彫り込められた筆が広島県熊野町から父の手元に届きました。それを風呂敷に包んで売り歩きましたが、筆についての商品知識はほとんど無く且つ売り先などもまったくなく、暗闇の中を手探りという状態でした。文房具屋さんに何度足を運んでも買ってもらえない状況で、大変な苦勞をした様です。ただ有るのは、「自分は挫けずに、必ず成功するんだ」という気魄と根性だけでしたが、少しずつ得意先は増え、熊谷、埼玉県、関東地方、新潟県、東北地方と販路を拡大する様になり、年間の筆の販売数が13万本を数えるまでになり、広島県熊野町の筆の全生産量の10%以上のシェアを獲得する程にまでなりました。その後、取扱商品を関連する墨硯に広げました。

そして、昭和30年代、文具用品の取り扱いを始め、文具製品の小売部門を開設し、且つ時代の変遷に伴い取り扱い商品を多様化し、現在は事務用品からスチール家具、OA関連と実に多岐にわたっています。営業部門は、小売部門、筆墨部門、営業用卸部門と3つ分かれております。小売部門は、熊谷市一番街に店舗を構え、学童用文具・事務用品・筆墨用品等老若男女問わず、あらゆる層の方にご満足いただける地域一番店としての品揃えで皆様のお越しをお待ちしております。筆墨部門は、お得意先を文具小売店から書道の先生方、或いは書道塾の方に重点を移して、業態を変化させております。又、業務用卸部門では、弊社のお得意様は、一流企業をはじめとして500社にも及ぶ取引企業を数えており、幅広い営業活動を通じ、お得意先の各企業のニーズに応えようとしております。

皆様ご存知の様に、最近の事務用品業界は、通信販売が主力になってまいりました。弊社では、今から十数年前よりココマーケティング株式会社との共同で「@オフィス」という通信販売を立ち上げ、好評を博しましたがその後、プラス株式会社の「スマートオフィス」、株式会社大塚商会の「たのめーる」と扱うアイテムを増やしております。

又、スチール家具等は奥が深く、ただ設置するものばかりではなく、工事を伴うものも出てまいりますので、現在は、埼玉県知事認可の「内装仕上工事業」の資格を取得しております。

弊社の幅広い営業活動を通じて、あらゆるニーズに応えられるインテリア、什器備品とOA・IT関連機器を融合し、きめ細やかなサービスでクオリティの高いオフィスソリューションをめざし、各企業様に貢献出来るように努めております。

〈次回10/30のプログラム〉

ガバナー公式訪問 ガーデンパレス

鈴木秀憲氏(吹上RC)

(熊谷西・熊谷籠原・熊谷南・熊谷東合同)